

おおたかの森駅前 市有地活用

多目的ホールは誰のため

各施設における料金比較

千葉県	流山市	おおたかの森ホール	100,000円
		市民文化会館	53,999円
	柏市	アミュゼ柏	51,430円
	松戸市	森のホール21	59,320円
	鎌ヶ谷市	きらりホール	40,700円
東京都	市川市	文化会館	61,500円
	大田区	区民プラザ	142,000円
	新宿区	四谷区民センター	103,900円
埼玉県	武蔵野市	市民文化会館	108,200円
	大宮市	ソニックシティホール	130,500円

※1ホールを市民が平日終日使った場合の比較

※2駅からの距離や定員など様々な違いがあります

※3ホールの料金以外に、ホワイエ使用料や備品等の料金にも違いはあります

駅前市有地に建設中の多目的ホール。設置に関する条例案が議会に提出されましたが、内容に政党・会派の違いを超えて、様々な懸念が示されています。

簡単に決めちゃっていいの？
 席数や築年数、駅からの近さ、その他各催しによって異なる備品等の料金なども含めて冷静かつ慎重に比較検討すべきなのが料金設定です。しかし、上記の比較でも、おおたかの森ホールは県内近隣各市と比較にならないほどの高さです。

一般的に、利用料金が「高い」と、借りるハードルが高く、催しのチケット代も高くなるのが想定されます。一方で、施設維持や管理費への税負担が軽くなります。

しかし、おおたかの森ホールはどうなっているのか？
 ホールの年間経費は1億3889万円。そのうち9780万円を税金で補って残ります。年間維持管理費に対する公費負担は、生涯学習センターで5587万円、市民総合体育館で5974万円の1.6倍：大丈夫でしょうか。

原理原則も市民優遇も：
 井崎市政は、『受益者負担』を求め、市民総合体育館（キックマンアリーナ）も公民館も料金が上がりました。また税金と料金のダブル負担を軽減するため、市民負担との差別化は全国どこでも取り組まれ、チケット代や年齢構成などでも細分化をしている施設もあります。

しかし、おおたかの森ホールは、市外の方も営利目的も負担を強く求めません。利用者負担は経費の35%（キックマンアリーナは50%）。井崎市長キモ入りで「交流人口（市内外から訪れる人口）を増やす」という目的になれば、原理原則も市民優遇もお構いなし：それでいいのでしょうか。

市民負担との差別化

(市民の負担を1にした場合にどれほどの差があるのか)

施設	一般		営利	
	市内	市外	市内	市外
おおたかの森ホール	×1	×1.3	×1.5	
市民文化会館	×1	×2	×2	
生涯学習センターホール	×1	×2	×2	
キックマンアリーナ	×1	×2	×3 (土休日×3.6)	
アミュゼ柏	×1	×2	×3	×4

